

報告課題用紙④

5 社会と関わる

「鍋洗いの日々」村上信夫 ／ 「真夏のひしこ漁」 矢田 勝美

二(1) 辞書で意味を確認してから、本文中での意味を考えるようにしましょう。

三 身体の一部を使った慣用句

【例】 手も足も出ない … (意味) 力が足りなくて手の施しようがない。

【短文の例】彼は先日の空手の試合で、格上の選手と戦ったが手も足も出なかった。
注意…短文とは、主語述語が整った文のことです。

四 ヒント 教科書九五・8～15 に注目。

五 「どのような行動か。」という問いに対して、

- ・ ……という行動(こと)。という形で答えましょう。
 - ・ 三段落(九六・11)「道が開けるきっかけは、…」
- 筆者にとって「道が開ける」とは、調理場に近づき料理人のこつを盗めるようになることです。そのために筆者が行ったことはどのような事だろう。

六 **訂正** ヒントにする問題番号は**(五)**です。

このワードに注目 ↓ 「鍋磨き」・「料理人の心が分かっている」

八 「自然は容易ではない」つまり「自然は人間の思い通りにはならないということ」。

九

A ひしこがたくさん取れたことで、漁師である父のどのような気持ちが表示されているか、また、大量のひしこが取れたあと、漁師が行うことはどのようなことか

【ヒント】 解答の範囲 教科書一一三・8～13

B 「まるで生きているかのように見えた」直喩法
勇む漁師の思い⇨父の思い(A)が に乗り移ること、つまり父の気持ちと が一体化されているということ。

十 教科書一一四・13 弟が怒って言った言葉に注目する。

十一 設問の解説

『注意すべきポイント』

- ・ A～Cについて、一つ選び情報収集を行う。
- ・ 職業や県内の産業・漁業に関することをインターネットや資料集、新聞などで関連する情報を書き出す。書き出したことを整理する。
- ・ 整理した情報について、意見や感想を書く。

例えば、「調べて分かったこと」「自分で問題提起を行い、それに対する自分の意見（賛否）を述べ、理由なども書きましよう。